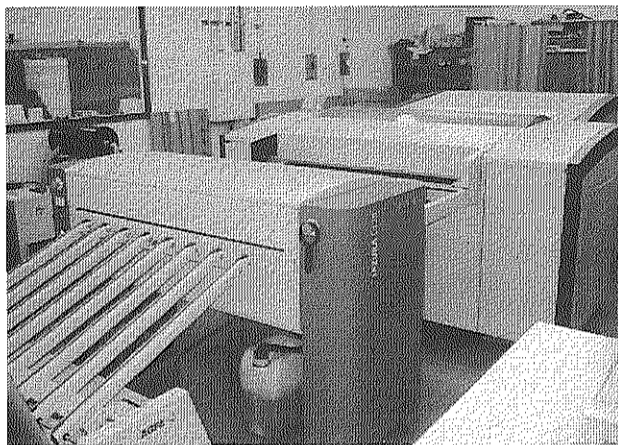


惠友印刷に都内1号機

「Apogee 7」を導入

「Azura TS」「Avalon N8」も同時に アグファのワークフロー構築

惠友印刷株式会社(萬上圭輔社長)は今年2月、日本アグファ・ゲバルト株式会社(松石浩行社長)の進化型ハイエンドプリプレスワークフロー「Apogee 7」をはじめ、現像レスプリント「Azura TS」、四六全判サーマルCTP「Avalon N8」に至るプリプレス製品群を導入し、4月27日に、東京都板橋区のアパホテル板橋で「Apogee 7都内1号機導入共同記者発表」が行われた。会見には、萬上社長をはじめ萬上孝平社長室長、大島勝範取締役プリプレス部長兼工場長、アグファ社から松石社長が出席し、導入の経緯や運用実績などが報告された。



アグファのプリプレス製品群を導入。「一步先行く」体制を構築(写真は「Avalon N8」)

惠友印刷は、平成7年に創業し、ペーシ物を中心とする出版印刷を中核として事業を展開。独自の生産管理システムのWeb化と四六全判ダイレクト印刷を強みとしている。また、サーマルCTPシステムやハイエンドDDCP、菊全判4色機などを導入し、商業印刷分野への展開も開始するなど、事業の拡大を図ってきた。

アグファ社のプリプレス製品群導入について大島取締役は「CTP出力能力、シルバーマスタ、A倍判という3本柱で提案があった」とし、同社が抱えていた課題とその解決に向けたアグファ社のプレゼン内容を紹介した。

惠友印刷では、菊全判から菊半裁、A倍判など多種の印刷機を保有していることから、版サイズが異なり、カセットの入れ替えがネックとなっていた。

「Apogee 7」者



版待ちストレス解消 多様なサイズでも合理的な面付け

【松石社長あいさつ】アグファの製品で共通するキーワードは「多機能化」である。多機能化とは、誰にでも扱え、かつ多くの人が作業に加わることのできる。そのための「アグファ」は、印刷会社にとっては職人技をなくし、なおかつクリエイティブを上げる商品を発表してきた。今後の印刷は、環境と収益性の向上とコストダウンを同時に進めなければならない状況にある。3年前に商業印刷の設備を導入した

【萬上社長あいさつ】現在の印刷会社は、品質管理は当然のこと、生産性向上とコストダウンを同時に進めなければならない状況にある。3年前に商業印刷の設備を導入した

【大島取締役あいさつ】アグファの製品で共通するキーワードは「多機能化」である。多機能化とは、誰にでも扱え、かつ多くの人が作業に加わることのできる。そのための「アグファ」は、印刷会社にとっては職人技をなくし、なおかつクリエイティブを上げる商品を発表してきた。今後の印刷は、環境と収益性の向上とコストダウンを同時に進めなければならない状況にある。3年前に商業印刷の設備を導入した

いた。予定変更や版の出直しなどで出力が重なる版待ちの状態が続くこともあり、より効率的な出力が問題として生じていた。これに対し、アグファ社では「Avalon N8」を提案。五段カセットを装備し、異なるサイズの自動給版で生産性の高い完全自動化運用を提案したという。

また、四六全判ダイレクト印刷の強みに関し、大島取締役は「アグファの意図する部分もあつた

「Azura TS」については、「他社からの聞き取りなどを行い、優位性だけでなく弱点も認識した。しかし、他社で生じた問題について、同意できる部分もあつた

が、当社での使用に限って言えば問題に値しなかった(大島取締役)と説明。従来のままで問題なく印刷できているが、現場からより改善するように進めるといった。

高精細についても、FMに取り組むには工場な保つことが困難な状況であるため「Sublima」を採用。「過去失敗したFMでの課題を問題なくクリアし、印刷結果もハッキリとよい方向に

向かっている」と大島取締役はXMSクリーニングのメリットを報告した。都内1号機となった「Apogee 7」は、当初の提案には含まれていなかったというが、各種印刷機を直前に入替えて印刷することの多い惠友印刷にとって革命的な面付け機能であったと話した。

大島取締役は「従来、面付けテンプレートを作

ること自体が大変であり、仕事と機械が複雑だと膨大なテンプレートとなり、管理に手間がかかっていた。内製化されたテンプレートなしで自動生成してくれ、最後にな

つづいて、すでに2つのワークフローを導入しているが、新たなワークフロー導入により、あらゆるデータに対応できるようになったことはもちろん、後工程や組織変革の面でも役立つとも明

て印刷機変更があつても校正ペーシを再RIPすることなく面付けだけ自在に変更できる」と称賛。さらに、「今まで面付けに関しては、ソフトの難易度によるハードルの高さが原因で、決まった人間しか扱うことができなかった。Apogee 7は、この問題を改善できると確信した。誰もが作業を行えることで、当社が進めている人材の多能工化を実現できる」と導入の決め手を語った。同社では、すでに2